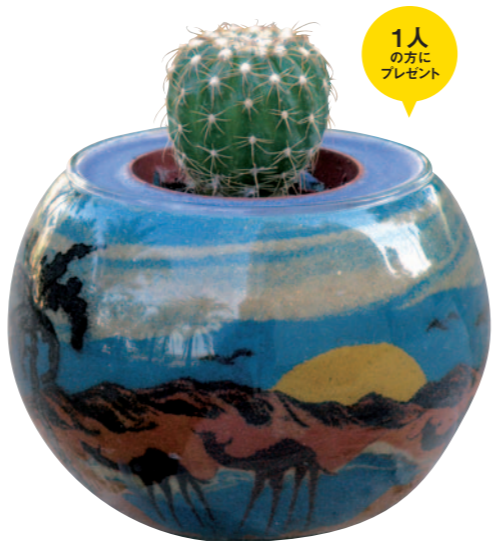




パレスチナ ガラス瓶の砂絵

「官民連携による持続可能な観光振興プロジェクト」では、毎週末、ジェリコ市内でバザールを開いている。多数のお土産物屋が出店しているが、中でも、砂絵職人のジャマールさんの作品が人気。ガラスの瓶にカラフルな砂を入れ、ラクダや砂漠などの絵を描く彼のブースには、いつも人だかりができています。プロジェクトでは、商品の陳列や接客についても工夫を凝らす。

※ジェリコ市内のバザールや国内の観光地で購入可能(サボテン付きはバザール限定)。



1人の方にプレゼント



4人の方にプレゼント



タンザニア バニラティー

ウルグル山脈の山間にあるモロゴロ県ムクニ郡で、青年海外協力隊が3代にわたって地元の人たちとバニラの栽培に挑戦。開花まで少なくとも3年は要する栽培、人工受粉に根気強く取り組んだ結果、見事収穫に成功。地元の紅茶・コーヒー製造会社と農民グループが協働で商品化した。芳醇なバニラの香りは、農民たちの地道な加工作業のたまものだ。

※NGOわかちあいプロジェクト(www.wakachiai.com/)を通じて日本でも購入可能。

特集
観光開発
地域の宝を掘り起こせ

世界で生まれるMONO語り

観光地に行くと、必ず買って帰るのがお土産。その土地でしか買えない、珍しい品物を探すのが、旅の楽しみという人も多いのではないだろうか。ここでは、JICAの支援により開発されたMONOの一部を紹介。

カンボジア カンボジアンペッパー

日本の旅行ガイドブックにも掲載されている「Cambodian Pepper」。コショウが入っている巾着袋は、実は青年海外協力隊の指導を受けてカンボット技能専門校の訓練生が製作したもの。カンボジアの植物・果物の皮を使って染められた布を、ミシンで縫い合わせていく。天然染料ならではの温かみある色合いが特徴で、おしゃれな小物入れとしても利用できる。

※プノンペン市内にある「KURATA PEPPER」の店舗で購入可能。



8人の方にプレゼント

マラウイ はちみつ

「一村一品運動のための制度構築と人材育成プロジェクト」で生まれた製品のひとつ。地域活性化のため、低コストで収入が得られる「養蜂」に注目し、南部のムランジェ県の住民たちがマラウイ政府とJICAの支援を受けて生産をスタート。ミネラルなどの栄養素が高く、濃厚な味が特徴。国内のマーケットやスーパーなどで手軽に購入でき、健康志向の地元の人にも人気。

※オフィス五タラント(www.malawi.jp/)を通じて日本でも購入可能。



3人の方にプレゼント



1人の方にプレゼント



1人の方にプレゼント



3人の方にプレゼント



1人の方にプレゼント



2人の方にプレゼント

8人の方にプレゼント

1人の方にプレゼント

グアテマラ 伝統工芸品

「グアテマラ観光自治管理委員会強化プロジェクト」を通じて、地域の伝統産品を活用した観光開発が進行中。JICAの協力の下、品質や生産技術向上のための研修、マーケティング支援などが進められている。トウモロコシ人形、モロ細工、木工細工など、各地域の素材で作られた商品が、その土地の魅力を観光客に伝える手段にもなっている。(8ページに関連記事)

※各村のマーケットで購入可能。



スリランカ サリー布のバッグ&シュシュ

2つの世界遺産を有するダンブッラ地区で、地元の女性たちによるお土産物開発が進行中。青年海外協力隊と共に、民族衣装として知られるサリーの布を再利用し、ハンドバッグや髪飾りの製作が進められている。異国情緒あふれる柄は、スリランカ独特の味わい。ダンブッラ地区だけでなく、首都コロンボのマーケティング開拓にも取り組んでいく予定。(12ページに関連記事)

※ダンブッラ地区のマーケットなどで購入可能。



キルギス SAORI織り

中部ナリン州のコミュニティー開発に取り組む青年海外協力隊が、自由な発想で色を重ねていく日本で生まれた「さをり織り」の技術を導入。村の女性たちにより「地域組合SAORI」が発足し、8人のメンバーが中心となって製作に励んでいる。ハンドバッグやブックカバー、化粧ポーチやペンケースなど、商品の種類はさまざま。地元の羊毛を使った草木染めによる製品開発にも取り組む。

※首都ビシケク2店舗のほか、3都市の店舗で購入可能。

